

千話万来

2021年9月 286号

株式会社シイビイシー 小玉亜衣

TEL 027-266-6855 FAX 027-266-6856

E-mail lcabc@linxcbc.co.jp

URL <http://www.linxcbc.co.jp>

〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1082-3

— 改善活動の発表会を行いました —

9/4(土)に改善活動の発表会を行いました。月に1度2時間の研修を行わせていただいている製造業の会社です。研修に参加しているメンバーは、係長2名、組長7名、一般職4名です。今後の成長や現場での活躍が期待されるメンバーです。今回が3回目の発表会になりました。

1回目、2回目は、1年かけて勉強して、3月に発表会を行っていましたが、今年度よりフットワークを良くして、2021年度は、9月、12月、3月に発表会を行います。今まではテーマは自分達で考えて自由に行っていましたが、今年度からは、社長から指定された大テーマについて、改善テーマを考えて活動します。

第1回目の活動は「運搬効率の向上」の大テーマで行いました。各サークルがとてもしいい着眼点でサブテーマを決めて、改善活動を行いました。現状把握、原因分析など改善ストーリーに沿って活動を進めて行きます。3回目の今回は、メンバー皆で役割分担することや前工程、後工程や協力業者の協力を得ること、などが出来ていて、活動内容はもちろん、発表資料の作成、発表の仕方なども回を重ねるごとに確実に上手になっており、指導させていただいている私としては、とてもうれしい限りです。

発表会が終わるとすぐに、今回の活動の振り返りをして、次の12月の発表会へ向けて今年度2回目(4回目)の活動に入りました。今年度第2回目の大テーマは「段取り工数の削減」です。活動期間は約3か月しかありませんが、内容の濃い活動にして行けるようサポートしていきます。

— 当事者意識を持ってもらうには? —

目の前の仕事はしているけれど、来たもの进行处理だけの作業のみを仕事だと勘違いしている人が少なくありません。仕事は「顧客満足の創出」から利益を得ているということを、どんな立場でも忘れてはいけません。

「自分が経営者だと思って、自分の会社だったら今の自分に何をしてほしいと思うのか、どんな風に仕事に向き合してほしいのかを考えてみて欲しい」と言っても、なかなかそう思えるものではありません。

そもそも当事者意識って何でしょうか?

物事に関して「自分自身も責任者の一人である」という自覚を持っていることです。

自分は企業の大切な関係者の一人であるという事を理解していて、担当している業務は自分と直接関係のある重要な事柄だと認識している状態です。

目の前にある仕事を“自分事化”し、常に自分がすべきことを見つけて、能動的に行動できる姿勢を持っている。そんな当事者意識が強い人には、責任感や主体性があるのが特徴です。

責任感とは、自分の責任を重要なものとして捉える気持ちを意味します。一方で主体性とは、自分の意思や判断によって行動する能力を意味します。

その反対に、物事を他人事として傍観したり、周りの誰かに決断を任せきりにしたり、失敗の原因を他人に押し付けて言い訳したりするのは、当事者意識が低い状態といえるでしょう。企業をさらに発展させるためにも、当事者意識の強い社員が求められています。

社員が当事者意識を持ってない理由

- ・ 目標が不明瞭（周囲の状況を「自分と無関係なもの」として捉えて危機感が薄れやすく、積極的な行動も生まれません）
- ・ 意志が弱い（いつも上司や同僚に判断を任せている、常に指示を待っているといった態度が特徴）
- ・ 他責思考である（自分の仕事が行き詰まったときに、上司や同僚のせいにする癖や、周囲の環境や状況を理由に言い訳をする癖がある）
- ・ 視野が狭い（与えられた仕事をこなすだけで満足したり、いっぱい、いっぱいになっていたりする社員は、ほかの人の取り組んでいる仕事を傍観しがち）

社員に当事者意識を持たせる方法

- ・ 目標を設定させる（自分自身で目標設定を出来るようサポートする）
- ・ 意見を吸い上げる（ミーティングや個人面談で意見の言いやすい環境を作る）
- ・ 期待する役割を伝える（役割を明確化して、お互いに共有しておく）
- ・ フィードバックをする（良いところも良くないところも）
- ・

— 責任をもって仕事をするということ —

先程の当事者意識の話の中にも、責任者、責任感、自分の責任、という言葉が出てきましたが、研修や討議、面談を聴いていて感じることは、それなりに本人は一生懸命やっているのだが、「責任をもって仕事をする」との本当の意味が分かっていない、行動が伴っていない、違う解釈をしているように思える人をたくさん見かけます。

責任をもって仕事をするということは、自分の担当や役割上の仕事を予定通り進める、関連部署との必要な報連相を怠らず、予定通りの成果を出すということです。

— 責任をもって仕事することが出来ない人の特徴 —

- ① 自分のできる仕事量、自分の処理能力を意識せずに、頼まれたことを全て引き受けてしまい、結局やり切れていない。
- ② 「周りの人に頼むと悪いから」と気を使い過ぎて、全て自分で抱え込み、結局やりきれない、追いきれない、忘れる、ミスをする悪循環に陥っている
- ③ 自分の部署の事なのに、担当ではないからと見て見ぬふりをする。困っている人がいても助けよう、協力しようとしなない。
- ④ 自分が忙しいのだから、今は手がいっぱいなのだから、出来なくても仕方がない、きっと誰かがやってくれるだろうと周りに依存している。
- ⑤ 周りの人が忙しくても、部署の仕事が忙しくても、自分だけはマイペース。自分の普段どおりが終われば気にせず帰ってしまう。

いくら一生懸命やっても、間に合わない、終わらない、忘れるのでは意味がありません。責任をもって仕事をするということは、周りの力を借りてでも終わらせること、間に合わせること、進捗を追うこと、忘れない工夫をすること、部署の仕事、会社の仕事が滞りなく進んでいて自分の責任が果たせているということのを忘れないようにしましょう。

自分なりの一生懸命が責任を持った行動になっているかの再確認や出来ない人への教育指導も行いましょう。